

《問い合わせ先》

第十一管区海上保安本部

海洋情報監理課長 土橋 一夫

098-867-0118 (内線 2510)



第十一管区海上保安本部

令和5年8月24日

水路記念日パネル展を開催します

～激レア海図^{※1}を見られるのは今だけ！～

9月12日の『水路記念日』^{※2}の機会を通じ、県立図書館や沖縄美ら海水族館にもご協力いただき、**米国ペリー提督測量による約170年前の那覇の海図など、沖縄にちなんだ非常に珍しい海図等を展示するパネル展を開催**します。

1 概要

沖縄県は物流の99%が海上輸送であるところ、船舶の安全な航海に資することで、その**海上輸送を陰で密かに支えているのが**、一般には馴染みの薄い**海図**であり、**海図を作製している我が国唯一の機関が海上保安庁海洋情報部**であることは、あまり知られておりません。

そこで、より多くの県民や観光客の皆様にも、海図に関する理解を深めていただきたく、**以下のとおりパネル展を開催**します。

2 開催場所・期間

- ① 那覇港湾合同庁舎 1階エントランス
令和5年9月1日(金)～9月29日(金)
- ② 沖縄県立図書館 4階展示コーナー
令和5年8月30日(水)～9月25日(月)
- ③ 沖縄美ら海水族館 総合休憩所
令和5年9月1日(金)～9月29日(金)

※9/10(日)と9/18(祝)には当庁職員によるポスターセッション等を予定
(別途「取材申込み」のための広報を予定)

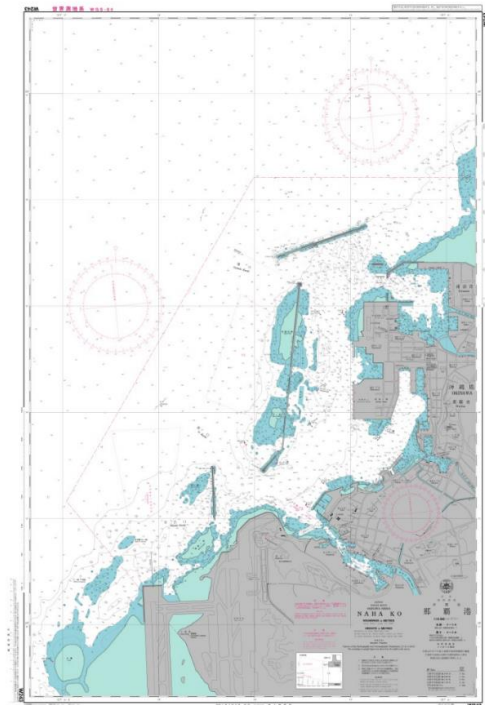
3 展示パネルの概要

- ① ペリー提督測量による約170年前(江戸時代)の米国海図
- ② 我が国の調査による沖縄の初めての海図(150年前)
- ③ 海軍の作戦用に特化した軍機海図
- ④ 沖縄県内のビンテージ海図各種

※1 海図とは

海図とは、水深をはじめ、沈船・魚礁といった障害物や灯台等の航路標識など、船舶の安全かつ効率的な運航に必要な情報が掲載された、船舶交通に特化した主題図であり、海上保安庁が刊行しています。

海図は、法令により、一部の船舶を除く全ての船舶に備置しておくことが義務付けられております。



海図 W243 「那覇港」

※2 水路記念日とは

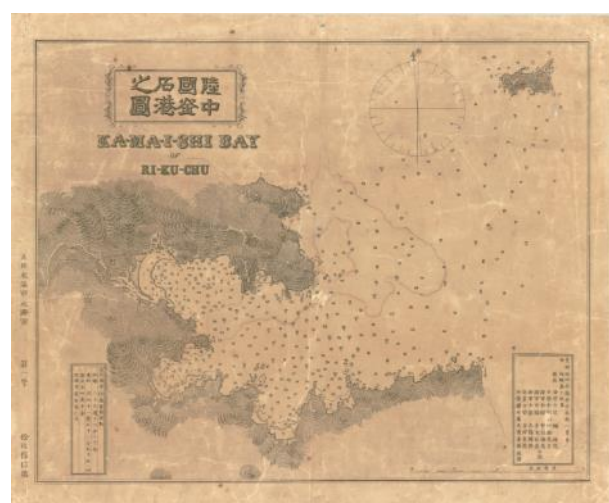
明治4年(1871年)9月12日、測量から海図作製までを一貫して行う水路業務(現在の海上保安庁海洋情報部所管業務の基礎)を使命とする、兵部(ひょうぶ)省海軍部水路局が設置され、日本独自による近代的な海図作製を開始しました。

これを記念して、9月12日が水路記念日となり、今年で152周年を迎えます。

水路局が設置された当時、勝海舟らとともに、西洋の進んだ航海術や測量術を学んだ、初代水路局長となる柳樽悦(やなぎ ならよし)らが中心となり海図作製を始め、明治5年には、国内第一号海図「陸中國釜石港之圖」を刊行しました。



柳樽悦【初代水路局長】



海図第一号「陸中國釜石港之圖」